



～ 「つながり<sup>たし</sup>を確かなものに」 ～

理事長 奥山葉月

季節は春から夏へと向かっています。しかし、3月より自分が止まったままで、すっかり取り残されているような気持ちになっています。この数か月、毎日のように新型コロナウイルス感染の最新情報に神経をとがらせ、事業の運営、利用者や職員の安全確保、雇用管理への判断を迫られ続けていました。市の委託事業を受けていること、また社会が混乱しているときこそ、さらに生きづらい状況となる障害のある方への対応が必要との考えから、閉所、時間短縮などは行わず事業継続をしてきました。

生きづらい状況をいくつか具体的にあげさせていただきます。介助や支援が必要な障害者はどうしても介助や支援をしてくれる人と濃厚接触になる可能性が高く、その対応策として消毒、マスクの着用などが必要となります。呼吸器や胃ろうなどの医療的ケアが必要な方にとっては消毒やマスクが無くなれば死活問題です。

この間、さまざまな対応をしているなかで、よほど、重篤な容体、その可能性があるケース以外、検査を受ける、入院治療を受けることは安易ではないことがわかりました。

ご家族と同居されている方の場合、主たる介助者の方が感染、感染の疑いとなり、自宅療養となった場合、障害のある方への感染を防ぐため、短期入所の利用が必要となります。しかし、ほとんどの短期入所は閉所となっているのが現実です。

単身生活の障害者が感染、感染の疑いとなった際にも同様で、通常は日中活動の場として、通所を利用していても、利用することはできませんし、閉所、休止をされている事業所がほとんどです。ヘルパー派遣を利用して生活していても、撤退してしまったり、食事トイレも体調に異変が起きても助けを呼ぶことさえできません。

地域で生きていくために必要な力が、試されているような気持ちにさえなりました。障害者の命、支える側の命、おなじく大切な命であることを再確認し、相互に守る、守りあうことでつながり<sup>たし</sup>を確かなものにしていく必要を感じています。

2019年度 福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》 事業報告

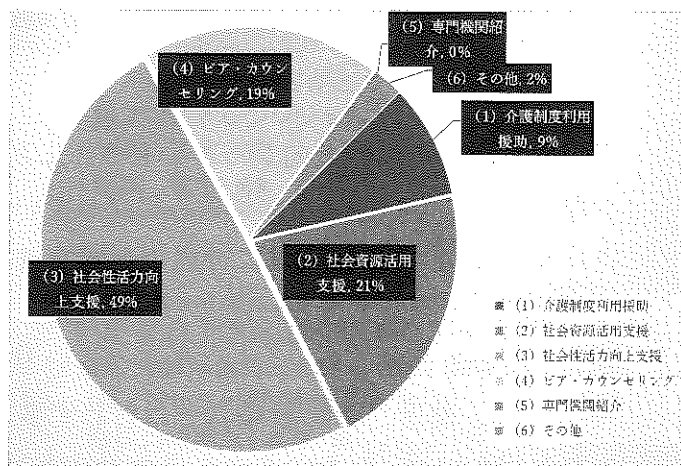
〔1〕 相談業務

● 個別相談件数

(1) 介護制度利用援助	155件	(4) ピア・カウンセリング	335件	計：1,781件
(2) 社会資源活用支援	369件	(5) 専門機関紹介	5件	
(3) 社会性活力向上支援	880件	(6) その他	37件	

2019年度は障害基礎年金に関する問い合わせが多く、情報提供や申請書作成（病歴申立書の記入）サポートをしました。また、日中活動を探すサポート、その後もご本人が安定して通所できるよう通所先と連携を取ることが多くありました。例年同様、金銭管理・健康管理の相談は多くよせられ、賃貸の更新手続きなどの対応も行いました。この数年の傾向では、ご本人とご家族、支援者など、人間関係がうまく築けないケースが多く、ご本人の気持ちを聞き、少しでも落ち着いてもらい良好な関係を保ちながらサービス利用できるよう関わりました。そのため、家族や支援機関の方々との連携を取らせていただく機会も多くなっています。

引き続き、地域生活が送れるよう相談支援にあたっていきたいと思います。



〔2〕 その他業務、会議など

● 立川市自立支援協議会

全体会：4月22日、7月7日、10月11日（3月6日中止）

相談支援専門部会：6月4日、6月18日、8月27日、11月5日、1月14日、2月25日（3月24日中止）

今年度、相談支援専門部会では、相談支援につながっていない方を主な対象者とした相談ガイドマップの作成が終わり、立川市のホームページへの掲載や配布を進めていきました。また、市内にある放課後デイサービス事業所連絡会や特定指定相談事業所連絡会、居宅介護派遣事業所連絡会など様々な連絡会へ各委員が連絡会に参加し、課題を知り、今後の連携の取り方について検討しました。次年度は就労専門部会と合同で会議を開く方向で調整し、専門部会間のつながり、連携が取りやすい関係を構築していける機会を検討していきます。

● 障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちづくり条例 相談窓口

今年度の報告として3件のご相談をいただきました。障害種別は、肢体不自由の方が2件、視覚障害の方が1件で、相談内容は、車いすのまま乗車できるUDタクシーを利用しようとしたが、運転手が車内の形状を変形させられず乗車できなかったこと。盲導犬を連れてくる視覚障害の方が商業施設内の飲食店から利用を断られるケースなどがありました。その他、条例に該当しないケースの問い合わせについても担当主査へ報告をしました。

（鶴園 誠）

たちかわしろうがいしゃじゅうろうしえん  
**立川市障害者就労支援センター はたらこ** — 2019年度 事業報告 —

**[1] 登録者の状況 (表参照)**

登録者の状況は昨年度と概ね変わりませんが、働き方改革で定年が延長される中、初めて60代の方が現れました。この傾向は今後も進むものと思われま

す。利用問合わせの総数は62件で、精神障害者が約35%、知的障害者が約20%で、昨年より精神・発達の方の問合わせが増えました。また、30%が在職中の方からでした。

正式に新規登録した方は21名でした。知的障害者14名、精神障害者5名(うち手帳なし1名)、身体障害者2名でした。利用登録された方の紹介経路は、支援学校などの高等部新卒者12名(4校)、福祉サービス事業所1名、医療機関1名、企業1名、ハローワーク2名、訓練校1名、ご本人・ご家族から直接が3名でした。登録時の状況は、未就労の方が6名、在職中の方15名でした。在職中の方の定着支援のご依頼が増えるのは就労支援機関が認知されてきた証拠でもあります。

年間の就職は21件でした。仕事内容は、メール集配や軽作業も含めた事務系8名、施設などでの清掃2名、小売店4名、物流倉庫での仕分け・ピッキング3名、食品などの製造現場での軽作業4名でした。また、就職先として、特例子会社が5件ありました。

一方、離職は15件でした。トライアル雇用期間終了の方が1名、その他の14名は自己都合によるものでした。その内容としては体調不良4名、転職希望8名、家庭の事情や進学のための方向転換2名でした。離職後の状況としては、転職を果たした方が5名、進路転換し福祉就労へ進んだ方が1名、就労移行で再訓練を行っている方が1名、在宅の方が8名でした。

また、年度末で登録終了した方は15名でした。転居などで他の支援機関に引き継いだ方5名、体調不良などにより福祉就労に進んだ方2名、個人的事情で方向転換された方2名の他に、数年利用実績のない方6名についても終了させていただきました。

① 人数	213名			
② 性別	男性	151名	女性	62名
③ 年齢	10代	12名	40代	43名
	20代	89名	50代	22名
	30代	45名	60代	2名
④ 障害	知的障害	161名	精神障害	38名
	身体障害	12名	手帳なし	2名
⑤ 状況	一般就労中	190名		
	就職準備等	23名	(福祉施設通所含む)	

**[2] 訓練等プログラム**

高齢者施設清掃実習は12名、市役所実習は15名、ららぽーと職場体験実習は2名が参加しました。参加者のうち約3分の1の方が就職を果たされました。

**[3] 利用者交流プログラム**

・ **夕食会**

知的障害の方を対象に木曜日の夜、食事会を行っています。31回実施、毎回平均約30名、年間のべ897名が参加されました。残念ながら2月末からは新型コロナの影響で中止とさせていただきました。

・ **お楽しみ会**

知的障害の方を対象とした交流会として3回実施しました。参加者はのべ115名でした。「創作活動」、「金銭管理についての学習会」、「新年会」を実施し交流を図りました。

・ **茶話会**

精神・発達障害の方を対象に2回実施し、参加者はのべ18名でした。「地域の福祉サービス・資源を知る」、「アンガーマネジメント」をテーマに外部講師をお招きし、有意義な学習を行いました。 [白部]

じりつせいかつぶ  
**自立生活部** — **2019年度事業報告** —  
ねんどじぎょうほうこく

■新年会 (1月29日)

昨年引き続き、今年も立川市内の飲食店にて新年会を開催しました。今回は、沖縄料理のお店で食事とレクリエーションを楽しみました。参加して下さった方は、利用者さん(福祉ホットライン、えんぱわ、計画相談)や協方員の皆さん、ヘルパーさん、職員合わせて総勢34名でした。



まず、会の前半の時間では、会場となったお店で沖縄料理の食事を楽しみながら、それぞれのテーブルにて談笑し、にぎやかな時間を過ごしました。

そして後半はレクリエーションの時間！今回はレクリエーションを通じて参加者同士の交流を更に深めて頂けたらと、参加者のお名前を使ったゲームを企画して行いました。ゲームはお名前ビンゴ！まず、参加者それぞれに自分の両隣に座っている方のお名前を聞いてその頭文字を用意したカードに書き込んで頂き、それを使ってビンゴ大会を行いました。そして、ビンゴを達成した方には景品をプレゼント！ゲームはとても盛り上がり、また、お名前を聞きあうことをきっかけに参加者同士の会話も更に広がって、とても和やかな楽しい時間を過ごすことができました。(櫻井 未来)

■ピア・カウンセリング集中講座 (2月12日・26日 3月以降中止)

今回は、初めてピア・カウンセリングを学びたいと来て下さった方、数年ぶりに参加された方、前回参加して下さった方と、ピア・カウンセリングにとっても興味と愛を持ったメンバーが集いました。



そんなあたたかい空気感の中、初日は大石、2日目は鈴木がリーダーを、櫻井がオーガナイザーを務めさせて頂きました。

自立生活センター・立川の職員のみがリーダーとなって開催するのは初めてで、それぞれがとても緊張していましたが、そのあたたかい空気感に支えられ、参加者の皆さんとピア・カウンセリングをしっかりと感じる事が出来ました。

しかし、これからもっと！というタイミングで、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止を余儀なくされました。4回シリーズの予定が2回のみ開催となってしまいましたが「もっとピア・カウンセリングを学びたい！感じたい！」との声を頂きつつ、次回を約束して解散しました。

外出自粛での巣ごもり生活が続く、ヘルパーによる支援を受けながら生活をしている方は、これから

自分の生活はどうなってしまおうかと、日々不安が増していると思います。こんな時だからこそ、ピア・カウンセリングで大事にしている、自分や相手の気持ちをしっかりと聞くことで、人と繋がれること、自分自身が元気になれることを思い出して、毎日の生活を大事にしていきたいと思います！

(鈴木 徳子)

■おすすめスポット取材 【年間2ヶ所】多摩障害者スポーツセンター、ラウンドワン武蔵村山店

障害のある私たちの視線で近隣の商業・文化施設などを取材し、バリアフリー情報などを盛り込んで、自立生活センター・立川のホームページに掲載する活動に取り組んでいます。(上記取材先の掲載は準備中です。)

まずはリニューアルオープンした多摩障害者スポーツセンターの取材を行いました(写真右)。きれいで解放感に溢れた空間に加え、バリアフリーも進んでいました。特に、宿泊棟の洗面台は高さを自由に昇降することができ、とても使いやすくなったことが印象的でした。



次にみんなで楽しめる場として、ラウンドワン武蔵村山店を取材しました(写真左)。カラオケ・ボーリング・ゲームセンター・スポッチャが楽しめるレクリエーション施設ですが、店内は段差もなくエレベーターやだれでもトイレがあり、ボーリングに関しては投射機(すべり台状のボール投げ機)も完備され、障害のある仲間にも安心して楽しめるようになっています。

これからも協力員の仲間とともに、皆様へおすすめのバリアフリースポットを紹介していきたいと思っています。(大石 幸治)

■その他プログラム

・出前講座 【年間38件】

障害のある仲間たちと立川市内の小・中学校、高校等に出向き、私たちの生活や差別解消に向けた取り組みについて知って頂く機会を設けています。2019年度は福祉学科のある大学4校からもご依頼を頂き、地域でともに生きることの大切さや、そのためにできることを学生の皆さんと一緒に考えました。

・清瀬療護園 訪問活動 【年間11回】

入所施設で暮らしている障害のある仲間のもとへ当団体のピア・カウンセラーがお伺いし、気持ちを聞き合う時間を作ったり、自立に向けて考える活動を月1回行っています。

・多摩療護園 権利擁護・苦情解決運営委員会(オンブズパーソン) 【年間8回】

オブザーバーとして参加し、入所者の方の思いを受けとめながら、運営について意見交換をしています。年3回程度、利用者・職員懇談会にも出席し、入所者の方との交流を図っています。(廣瀬 麻美)

## 知的事業

### ■新型コロナウイルス感染防止に関する情報提供

新型コロナウイルス感染防止のため、3月に予定していたプログラムの中止を余儀なくされるなど、知的事業の活動にも様々な影響が出てしまいました。その中で、今私たちにできることは何かを話し合い、このような状況の中で不安を感じている仲間に向けて、情報提供をしていくことにしました。

#### 【「うちいからのお願い」情報誌作成】

毎日、新型コロナウイルスに関する情報が様々なメディアを通して伝えられ、その情報は日々変化していきます。中には、正しくないもの、不安を煽るものも多く存在します。たくさんの情報の中から、正しいものだけを見つけ、選ぶことは難しいです。そのような困りごとに寄り添い、正しい情報を簡潔に分かりやすく伝えるための情報誌を作成しました。作成に取り掛かったのは、緊急事態宣言が出されてすぐの頃だったため、「行ってはいけない・閉まっている場所」、「開いている場所」はどこか、どうしても外出する場合は何に気を付ければよいか、家での過ごし方について記載しています。情報誌の最後には、障害のある仲間の立場から、大変な状況を一緒に乗り越えていこうというメッセージを載せ、読んでくださった人に元気を出してもらえよう思いを込めました。



#### 【「うちい・てっちゃんからのビデオレター」作成】

情報誌を作成したあとも、新型コロナウイルスの感染者は日々増え続け、それに伴い、緊急事態宣言も5月31日まで延長となってしまいました。ビデオレターでは、自分や、自分の大切な人が感染しないためにできること、家での過ごし方や、役に立つ豆知識を紹介しています。左下に掲載している写真は、お家で気軽に楽しく体を動かすのにぴったりな「サザエさん体操」を動画の中で紹介している様子です。ビデオレターにこだわったのは、私たちが話している声や表情、雰囲気も一緒に届けたかったからです。通所施設がお休みになったり、余暇活動ができなくなったりして、今まで当たり前のように顔を合わせていた仲間にあえず、寂しい思いをしている人がたくさんいると思います。直接会って話すことができなくても、画面を通して顔を見れば、きっと元気が出てくるはず。そんな思いを込めて、映像の最後には、うちいからのメッセージを収録しました。全文をご紹介します。



うちいからのメッセージ：コロナウイルスから自分の身を守るために、そして、家族や友達など大切な人を守るために、私は、外になるべく出ないようにして、おうちでテレビを見ながら過ごそうと思います。みんなも、お家の中で、楽しく過ごしましょう！

また、ビデオレターと一緒に、「わたしたちの大切な仲間へ」というお手紙を送りました。文章はてっちゃんが中心となって考えました。お手紙の一部も合わせてご紹介します。

お手紙より抜粋：今回このようなDVDを作成した理由は、私たちが新型コロナウイルスと「どのように付き合っていくか」が大事であることを伝えるためです。付き合っていくためには、私たち一人ひとりの過ごし方によって変わっていくと思います。(中略)ぜひ、ビデオレターを見て、私たちの大切な家族や、仲間のことを思いながら、5月31日(緊急事態宣言が解除される日)まで過ごしていきましょう。

(金井 春奈)

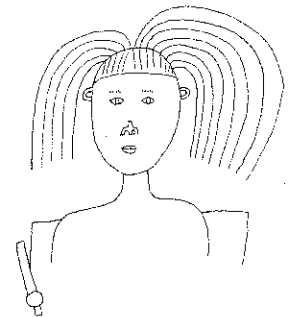
せいかつかいごじぎょうしょ  
**生活介護事業所 えんばわ**

2019年11月1日より開所し、「えんばわ」は半年が経過しました。「えんばわ」は新型コロナウイルスへの対策を行い、休まず、変わらず、事業を継続しています。

今回は、「えんばわ」について、ご紹介します。特徴としては、自立生活センターの理念に基づき、障害種別を問わず利用されていること、また、自己決定のもと、ひとりひとりの必要性のもと利用を決めるので、現在のところ、毎日利用される方がいないことです。なので、曜日ごとに個性豊かな利用者の方々が集い、曜日ごとに活動メニューが違います。

現在では以下のようにおこなっています。加えて、不定期で月一回、医師が訪問してくれています。

げつよう 月曜	つき かい 月1回ずつ：ピアカンの日、ローカロスイーツの日(調理)
かよう 火曜	まいしゅう 毎週：看護師相談、個別活動
すいよう 水曜	つき かい 月1回ずつ：ゲームの日、DVDの日、ローカロスイーツの日(調理)
もくよう 木曜	まいしゅう 毎週：個別活動
きんよう 金曜	まいしゅう 毎週：えんばわ食堂(昼食調理)



スポーツセンターが休館のため延期となっていますが、身体を動かすメニュー、外出メニューも定期的に取り入れる予定です。また、障害のある私たちのことを知ってもらい、社会を変えていく活動の計画も進行中です。

「お花見に行きました」

今年の桜は早く咲き、水曜チームのメンバーで3月25日に根川緑道まで散歩とお花見をしました。参加された方からの感想を紹介합니다。  
・満開の桜をみながらのずんだ串だんごが美味しかったです。  
・満開の桜がきれいだった。  
・お花見に行って、桜がきれいでした。たくさん歩いて、いい運動になりました。犬を散歩している人がいて、つれているプードルがかわいかったです。  
・桜が満開でよかったです(酒がほしかったです)。



です。・当日は通院のためお休みすると伝えたら、前日もお花見を企画してくれました。花が咲いているのがわかった。



自立生活センター・立川ホームページにも  
「生活介護：えんばわ食堂/日々是好日/ろーかるすい  
一つ」を更新しています。ぜひ、ご覧ください。

(サービス管理責任者 奥山)

\*今回のイラストは職員のお顔絵を利用者の方に書いていただいたものです。



## 私たちの動き (2/1~5/31)

( ) は担当部門名 C I L ・ H L ・ 就 労

### 【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・ 出前講座 (新生小, 七小)
- ・ ピア・カウンセリング集中講座 (2/12, 26)

(就 労)

- ・ 茶話会 (2/1)

### 【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・ まちづくり委員会 (2/6)
- ・ 清瀬療護園ピア・カウンセリング (2/13)
- ・ 東京都相談支援従事者初任者研修検討会議 (2/17)
- ・ ヘルプ協会たちかわ苦情解決委員会 (2/19)
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい  
立川を考える会定例会 (2/20)

- ・ りらく定例会 (2/20, 3/19)
- ・ 立川市交通結節推進協議会 (2/21)
- ・ 多摩療護園オンブズパーソン (2/21)
- ・ T I L 総会 (5/28)
- ・ D P I 総会 (5/30)
- ・ 地域生活支援拠点事業コーディネーター会議 (5/29)

(H L)

- ・ 立川市障害者週間実行委員会 (2/20)
- ・ 立川市自立支援協議会相談支援専門部会 (2/25)

(就 労)

- ・ 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会 (2/3)
- ・ 立川市自立支援協議会就労部会主催講演会 (2/26)

### 【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ 東京都相談支援従事者初任者研修 (2/4, 5)
- ・ 立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすい  
まちをつくる条例啓発講演会 (2/9)
- ・ 業務連絡会・地域包括ケアシステム勉強会 (2/18)
- ・ 立川市自立支援協議会就労支援部会学習会 (2/26)
- ・ 障害者虐待防止学習会 (2/26)

(H L)

- ・ 障害者啓発事業事例検討会 (2/10)

### 【外部からの見学・研修】

(C I L)

- ・ 明治学院大学 (2/28)

### ★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・ 株式会社オレンジジャムコ 様
- ・ 小林 正直 様 ・ 山口 武人 様
- ・ 杉本 靖男 様

とくでいりふりきりかつどうほくじん じりつせいかつ センター・たちかわ  
特定非営利活動法人 自立生活センター・立川  
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F  
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134  
URL : <http://cilt.sakura.ne.jp/>  
Mail : [cilt@sh.rim.or.jp](mailto:cilt@sh.rim.or.jp)

